

ペットボトル水平リサイクル出前授業

～ 限りある資源の有効活用 ～

山形市、上山市、山辺町、中山町及び山形広域環境事務組合とサントリーグループは、ペットボトルをペットボトルに再生する「**ボトル to ボトル**」水平リサイクル事業に連携して取り組んでおります。

その事業の一環として、構成市町内の小学校を対象に、サントリーグループの専門講師による環境教育に関する出前授業を昨年度から実施しております。今年度は山形市内の3校から応募があり、9月16日（水）・17日（木）に実施しました。

「ボトル to ボトル」水平リサイクルとは



「ボトル to ボトル」水平リサイクルは、ペットボトルをペットボトルにリサイクルすることで、原料となる石油資源及び容器を製造する際の二酸化炭素排出量を抑制することができる取り組みです。

授業では、クイズやワークシート、映像などを活用しながら、「なぜ、リサイクルが必要か」「リサイクルでペットボトルが出来るまで」「リサイクルするために自分たちができること」など、参加型の授業を通して考えながら楽しく学ぶことができました。

最後には、「ボトル to ボトルを増やすためにあなたが頑張りたいこと」を聞かれ、皆さん学んだことを積極的に手を挙げて発表してくれました。

〈授業の様子〉

○山形市立南沼原小学校 （4年1組32名 2組36名 3組32名 4組36名）



○山形市立村木沢小学校

(4・5年生 15名)



《子どもたちの感想》

- ・リサイクルするために、残さず飲みきる。
- ・キャップを外す、ラベルをはがす、中をすすぐ、ペットボトルをつぶすを意識したい。
- ・飲み終わったら、キャップとラベルとボトルに分別して、家族にも教えてあげたい。
- ・ボトル to ボトルをみんなに広めていきたい。
- ・授業で聞いた分別の仕方などを、わからない人には教えてあげたい。

○山形市立南山形小学校

(4年1組27名 2組29名)



ペットボトルの分別にご協力ください。

①

ラベルをはがす



ラベルには色がついているのではがしてください

②

キャップをはずす



キャップの材質はボトルと異なるのではがしてください

③

ボトルをすすぐ



異物や飲み残しがあるとペットボトルにリサイクルできません

当組合では、今後もこうした出前授業を引き続き行い、リサイクルの仕組みや資源循環の必要性をPRする取り組みを行ってまいります。